



テーマ： 「超スマート社会 Society5.0 に向けて」  
～建設分野における ICT（情報通信技術）の活用～

講師 中野 雅弘 氏 （近畿建設協会技術顧問 元大阪産業大学教授）



**【略歴】**

・昭和 45 年京都大学工学部卒、47 年同大学院工学研究科（修士）修了、同年電電公社入社。現場管理機関を経て、主に、本社技術開発・建設部門に従事。平成 11 年関経連「関西 ITS 推進協議会」事務局長（出向）。平成 13 年大阪産業大学工学部土木工学科（のちに都市創造工学科）教授、平成 15 年英国レディング大学客員教授（6 か月）。その間、学科主任・工学研究科専攻主任など歴任。平成 27 年一般社団法人近畿建設協会技術顧問、現在に至る。

**【資格】**

技術士（建設、総合技術監理部門）、工学博士、土木学会フェロー、特別上級土木技術者（防災）：【技術士会】日本技術士会、京都大学技術士会、NTT 技術士会各会員、大阪産業大学技術士会会長：【各種委員】都市計画審議会（四条畷市会長、大東市・芦屋市委員）、土木学会関西支部調査研究委員会委員長（平成 20～22 年度、平成 24～26 年度）：【専門分野】まちづくり政策（交通施設、安心・安全、景観）、都市防災、構造物耐震技術、他

**【講演概要】**

最近、政府がかげの生産性革命には、AI やロボットなどの新技術が普及し、従来は人が担っていた業務を、機械やシステムが代替することが今まで以上に可能であると指摘されている。政府の白書では、これを「Society（ソサエティ）5.0 の経済へ」と称し、サイバー空間とフィジカル空間（現実社会）が高度に融合した「超スマート社会」を実現する一連の取組が行われようとしている。

本講演では、「Society 5.0」を実現するための技術として、人工知能（AI）やネットワークを活用した I o T、5 G などについて説明するとともに、「Society 5.0」がもたらす将来の社会について概要を説明する。